

7月28日(金)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマ-ミュ-ザ

Hobo Nikkan Summer Muza

マエストロのこだわりと情熱のつまった アメリカ音楽の祭典！

7/26
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



© 増田雄介

サマ-ミュ-ザらしいアメリカ音楽の祭典。作曲家の意図に忠実な高関健は、ガーシュウィン「パリのアメリカ人」で、初演の際カットされた約100小節を復元した楽譜を使用。更に、ガーシュウィンが指定した音程のタクシー・ホーンをドイツの楽器メーカーから取り寄せる徹底ぶり。4人の奏者が散らばってホーンを鳴らし、パリの雑踏を再現した。演奏は色彩感に満ちて華やか。コーダ手前の復元部分も新鮮だった。

ガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」は、カデンツァの超絶技巧など、横山幸雄のピ

ノが圧巻。高関の指揮も緻密で、シティ・フィルもクラリネットをはじめ見事な演奏。名人二人の手にかかると、作品がこれほど輝くのか、という驚きがあった。横山のアンコールは、ジャズの要素を取り入れたドビュッシー「前奏曲集第2集第6番」。

高関は1981年タンゲルウッドで、バーンスタイン自身による「シンフォニック・ダンス」と「ディヴェルティメント」のリハーサルと本番に立ち会った。バーンスタインの指示を思い出しながら指揮したいとプレトークで語った高関とシティ・フィルの演奏は力強く、説得力がある。

『ウエスト・サイド物語』から「シンフォニック・ダンス」はエネルギー満ち。「(ランブル)決闘」の切れ味が強烈。「フィナーレ」は深く感動的。

バーンスタインがボストン交響楽団創立100周年記念のために書いた「ディヴェルティメント」の終曲、「イン・メモリアル」～行進曲《ボストン響よ永遠なれ》の結尾は金管が立奏するが、アンコールではなんとシティ・フィル全員が立奏。サマ-ミュ-ザを盛り上げる楽しい演出だった。

(音楽評論家 長谷川京介)



左：高関 健 (指揮)
右：横山幸雄 (ピアノ)

ご来場者の声

ガーシュウィンとバーンスタインは大好きな作曲家。高関健さんの情熱スピーチと演奏が圧巻でした。そしてクラシックの横山幸雄さんのラブソディインブルーも新鮮でした。(70代・なし・たそがれヴィオレッタ) / とても楽しい素晴らしい演奏会でした。高関マエストロのTwitterも事前にチェックしていましたが、これがあのタクシーホーン！とかあのホイッスル！と思いつつ聴かせていただきました。打楽器セクションの方々の活躍ぶりも楽しかったですし、ウエストサイド物語でのピアノ奏者の方の楽器を渡り歩く？様子も素晴らしかったです。暑い日でしたがたくさんパワーをいただきました！(60代・主婦・みり) / こだわりのクラクションとマンボの一体感！巴里のアメリカ人の原典版に驚愕し、帰宅してから「アメリカ交響楽」を見直しました。後半のバスタプログラムでは40年程前の夏のタンゲルウッドを見事に再現したマエストロに感服！マエストロも40歳位若返ったかのようなキレッキレの指揮ぶりで最高のアンコール、横山氏のガーシュウィンとパリを意識したドビュッシーのアンコールも流石！(50代・会社員・トッポジョージ)

Next! サマ-ミュ-ザ
明日のチケット情報

NHK交響楽団

ガルシアのラフマニノフと
魅惑の「シェエラザード」

サマ-ミュ-ザ×ピアノ vol.4

7/29(土) 16:00 開演

会場：ミュージア川崎シンフォニーホール (14:30開場)

完売
御礼

N響メンバーによるプレコンサート (15:00~15:30)
※本公演と同じお席でお楽しみください。

指揮：キンポー・イシイ

ピアノ：マルティン・ガルシア・ガルシア

■ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番

■リムスキー=コルサコフ：交響組曲『シェエラザード』

出張サマ-ミュ-ザ@しんやり!

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

変幻自在!フランスからのハーモニー サマ-ミュ-ザ×ピアノ vol.5

7/29(土) 17:00 開演 (16:15開場)

会場：昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ
(小田急線「新百合ヶ丘駅」南口より徒歩4分)

指揮：熊倉 優 チェロ：横坂 源 ピアノ：古海 行子 [料金] S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 U25:各席種半額

■プーランク：バレエ組曲『牝鹿』

■サン=サーンス：チェロ協奏曲第1番

■ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲

■ラヴェル：ボレロ

当日券あり

Tel・Web予約
▶販売なし
当日券カウンター
▶16:00 より

みなさんからのメッセージだトン♪

かわさき
ミュージアム

熊倉 優

横坂 源

古海 行子



内田光子withマーラー・チェンバー・オーケストラ

鋭い知性と深い音楽的洞察力で高い評価を獲得し、音楽ファンを魅了し続けている現代最高のピアニストのひとり、内田光子がアーティストティック・パートナーを務めるマーラー・チェンバー・オーケストラと共に「ピアニスト」「指揮者」として10月31日(火)ミュージアに初登場。

今回のプログラムは彼女の<十八番>とも言えるモーツァルトのピアノ協奏曲から「25番」「27番」、そしてシェーンベルクの「室内交響曲第1番」がプログラミングされている。

モーツァルトは勿論、シェーンベルクが作曲した2曲の室内交響曲の第1作目となる「室内交響曲第1番」は演奏頻度が多くないのでこの機会を是非逃さないで欲しい。

マーラー・チェンバー・オーケストラは巨匠クラウディオ・アバドと共に自由で国際的なアンサンブルを目指すという共通のビジョンをもって1997年に創設され、古典から現代

音楽まで幅広いレパートリーを持つ稀有なアンサンブルだ。綿密かつ自主的な音楽を奏でるメンバーたちの本領が「モーツァルト」だけでなく「シェーンベルク」でも十二分に発揮される事だろう。

(事業企画課H)



◆内田光子 with マーラー・チェンバー・オーケストラ(MCO)

10月31日(火) 19:00 開演
ピアノ・指揮：内田光子

モーツァルト：ピアノ協奏曲第25番 八長調 K.503

シェーンベルク：室内交響曲第1番 ホ長調 op.9

モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調 K.595

[料金]

S席 ¥22,000

A席 ¥18,000

B席 ¥14,000

C席 ¥10,000

※残席僅少



©Molina Visuals

「お得にグルメを楽しもう」

PARTNER SHOP

全59店舗



サマーミュージアの公演会場で配布する「優待券」を提示すると、割引やお得なサービス等の特典が受けられます！

*サマーミュージア期間(7/22~8/11)ならいつでも、何度でもご利用いただけます。



パートナーショップ一覧や特典詳細はこちらからチェック！



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



熟成チーズの「ふわふわ」シーザーサラダ
1,180円(税込)

カフェでゆったり、おいしい時間♪

川崎駅から3分ほどで着くお店。駅から地下を通って行けるので、日差しが気になるこの季節には嬉しいポイントです。

店内に大きな吹き抜けがあるため、開放的でありながら静かにゆったりとした時間が流れています。座席は半個室やソファ席もあり、用途に合わせて選べるのが魅力。

今回は「お出汁をかける生パスタ〜たらことアボカドのたら

ポナーラ〜」と「熟成チーズの「ふわふわ」シーザーサラダ」を注文。生パスタはもっちり。サラダは3人でシェアしてもたっぷりの量でした。食後に頼んだ「自家製ジンジャーエール」は喉にさわやか。どれもおすすめです！ (事業課/YY)



お出汁をかける生パスタ
〜たらことアボカドのたらポナーラ〜
1,430円(税込)

kawara CAFE&DINING 川崎モアーズ

パートナーショップ特典

ランチメニューご注文で対象ドリンク1杯サービス

*ランチタイムに限り
※優待券持参者のみ

フェスタサマーミュージア公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#サマーミュージア
#お待ちどうサマー♪
で検索 & 投稿
お待ちしております！



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

「これは全員が「はい」という結果に♪」開演間際にご来場のお客様を席までご案内。終演後「あなたのお陰で席に座って最初から演奏を聞く事ができ大変楽しめた」「音響が素晴らしい。また聞きにくるね」等、感謝のお声や喜びのお声を頂く度に嬉しさを感じております。サマーミュージアは始まったばかり！ホールでの時間がお客様にとって素敵なものになるよう、私たちは今日も笑顔でお客様をお迎え致します！ (レセマネO)

Q2 働いていて嬉しかった事はありますか？
これは全員が「はい」という結果に♪「開演間際にご来場のお客様を席までご案内。終演後「あなたのお陰で席に座って最初から演奏を聞く事ができ大変楽しめた」「音響が素晴らしい。また聞きにくるね」等、感謝のお声や喜びのお声を頂く度に嬉しさを感じております。サマーミュージアは始まったばかり！ホールでの時間がお客様にとって素敵なものになるよう、私たちは今日も笑顔でお客様をお迎え致します！ (レセマネO)

日刊サマーミュージア
Hobo Nikkan Summer Muza

レセプションニスト(案内係)に緊急アンケート！
Q1 なぜこのお仕事を選びましたか？
1位「音楽が好きだから」
2位「ミュージア川崎シンフォニーホールで働きたかったから」
3位「川崎市で働きたかったから」
声として、「小学校の鑑賞教室でホールに来て、働きたいと思った」「自分も演者として舞台上立つ時、支えてもらっていたので、その分私もコンサートを支えたいと思った」「以前にお客さんとして来場した時、素敵なホールだと思った」等、ミュージアへの思い入れの強さが伝わりました。

スタッフ日誌